

留学報告書
～新しい自分の発見～

マドンナ大学
現代社会学部（長期）

アメリカのミシガン州にあるマドンナ大学という小さな大学で約9ヶ月間長期公費交換留学をしていました。マドンナ大学は、リボニアという街の中にある自然に囲まれている場所で日本とは違い、周りには道路や小さなお店が並んでいる場所でした。私がアメリカ留学をする上で掲げた個人的な目標がありました。それは、本当の自分を見つけることです。私が留学を目指そうと思ったきっかけがコロナ禍の影響により人と関わる機会が減り自分自身を見失ってしまい、自分を変えたいと思うようになったことがきっかけです。アメリカという、日本とは言語も文化も違う国にいき、新しい生活を過ごすことで本当の自分や自分のなりたい姿、夢を見つけることができると考え、留学を目指すようになりました。

出発前とはとにかくワクワクしていて、絶対に楽しい留学生活にすると期待に満ち溢れていました。いざ、デトロイト空港に着くと全てが英語で、自分の夢が今現実になっているのだととても感動したのをはっきりと覚えています。オリエンテーションが予定されていましたが、ミシガンに6つのハリケーンが同時に来ていて、大学内の電気や水道が使えなくなってしまい、大学とは別の体育館で避難生活を約3日間過ごしました。日本でも稀に起こることで、最初は予期せぬハプニングに動揺しましたが、大学の職員や他の新生と共に体育館で過ごしながゲームや食事を共にする中で、友達を作ることができました。私が大きく感じたのは、どんな状況でも楽しむことやポジティブな考えを持つことです。

予定されていたオリエンテーションが行われなかったのも、新しい友達を作ったりするイベントがないままESL（English as a Second Language）の授業が始まりました。ESLのクラスは2つにレベルが分かれていて、私以外に、日本からスポーツのために来ている日本の学生、ブラジル、アルジェリア、ベトナム、韓国、ポルトガルの学生が来ており、いろいろな国籍の人たちがいる国際豊かなことがマドンナ大学の一つの特徴と言えます。ESLの授業では英語力を伸ばすための基礎的な授業だけではなく、他の国の留学生との交流や先生との対話を交えながらいろいろなアメリカの文化や他の国の人と日本の違いを感じることができました。授業は少人数のクラスで行われたため、自分から積極的に発言、質問を行うことができました。日本とは違う授業スタイルで発言する機会や、自分の意見を英語で伝えるという難しいことが多かったのも自主性や考える力を養うことができました。授業時間は2時間50分でしたが、毎授業があつという間に感じました。

最初の学期はESLの授業だけを取っていて、あまり現地の学生と関わる機会が少なく常に焦りを感じていました。英語を上達させるためには、とにかく失敗を恐れずに積極的にコミュニケーションをとることが必要でしたが、実際にアメリカに行ってみると日本で練習していた英会話よりも何倍もの速さで会話が進み、なかなか会話に入ることができませんでした。友達と過ごしていても会話の意図が掴めず、とても悔しい思いをたくさんしました。日本では感じたことのない孤独や言葉が通じないことに対しての不安、自分の無力さをたくさん感じました。しかし、どん

な時でも優しい友達やプロフェッサーがそばにいてくれて私のことを励ましてくれました。留学中、常にネガティブ思考だった私に対して常にポジティブな言葉をかけてくれたり、私にわかりやすいような英語を使って話してくれたりたくさん支えられました。

授業の後半は、ESLの授業とレギュラークラスを現地の学生と受ける機会がありました。私の学部でも関連している社会学とコミュニケーションの授業を履修していました。社会学では、生徒にもたくさん発言をする機会が与えられ、いろいろな社会の歴史や映画から学べることをディスカッションするなどして日本人とは違う考え方を聞くことができました。また、日本人として発言をする機会も何度かあり、日本がいろいろなところから注目されているのだなと感じました。コミュニケーションクラスでは3度のプレゼンテーションとグループプレゼンテーションがあり、とても苦労しました。ESLで行っていたシンプルなプレゼンテーションとは違い、内容やトピックに合わせて事実性のある記事を使い、説得力のあるスピーチなど奥深い授業でしたが、たくさんのことを学ぶことができました。

留学中は常にどれだけアメリカや欧米の人たちがポジティブで楽観的なのかについて常に驚かされていましたが、彼らのおかげで私も何事もポジティブに、そして周りの人たちを励ますことのできるような存在になりたいと強く思いました。Thanksgiving breakの時には、現地で作った友達が家に招待してくれて彼女の家族と一緒にたくさんの人と食事やゲームをしてアメリカの文化を楽しむことができました。アメリカの家族との時間や友達との時間を大事にする文化が私は大好きで夢でした。ブラックフライデーには買い物をしたり、ハロウィーンには友達とデトロイトにあるお化け屋敷に行ったりしました。春休みにはフロリダ、クリスマスシーズンにはロサンゼルスへ旅行に行き、いろいろなアメリカを目で見て感じることができました。いろいろな人種がいるアメリカでは、時には文化や言葉の壁で大変だと感じることもありましたが、そのおかげで本当の友達とはどのような人たちなのか、国を跨いでも大切な友達に出会えることができました。この経験は、単なる良い思い出とかではなく、私が日本にいるときに、日本にいる海外の人や困っている人たちに同じことを返してあげたいと思えるような良い経験になりました。日本にいた時には知ることができなかった言葉が通じないことへの不便さ、日本という国の素晴らしさ、また日本には無く、アメリカにはある文化の良さをいろいろな経験を通して学ぶことができました。

アメリカ留学でたくさんのことを経験し、アメリカでしか得られない貴重な学びを手に入れることができました。目標であった、将来になりたい自分の姿も明確ではありませんでしたが、この留学中に少しずつ見つけることができ日本に持ち帰ることができました。これらの経験で学んだことを今度は日本でも後輩や周りの人に行動で伝えられるような存在になりたいと思います。